

<白金標準先物、恒大集団のデフォルト・リスクの存在・・・>



(出所：オアシス)

年明け早々に香港株式市場で中国恒大集団の株式の売買停止が発表されている。昨年12月6日に子会社景程のドル建て債利払い8250万ドルのデフォルト認定猶予期限が過ぎたが、利払いの履行が確認する事が出来ない中で、大手格付け会社フィッチとS&Pは部分的なデフォルトに格下げを実施している。12月28日も恒大集団の2億5520万ドルの利払いが確認されない中で30日間のデフォルト認定期限に入っている。また1月8日に人民元建て社債の利払い3億1410万元(約57億円)の期限を迎えるほか、同30日には3億ドル(約345億円)の米ドル建て社債の償還も控えるなど、1月における恒大集団の利払い実施は不可能に近く、最後に残るムーディーズが何処で恒大集団の格付けを引き下げるかに注目される。特に白金において中国の自動車触媒需要や宝飾需要は総需要に占める割合が高くなっているだけに、国内GDPの3割を占める不動産の大手デフォルト・リスクは景気マイナスのイメージが高まるだけに上値を抑える可能性は高いと予想される。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルが上昇しているが、MACDの伸びが欠けている。またRCIでは短期が下げながら、長期が上昇しており、短期が長期を下回るクロスが発生するなど弱気のサインを見せている。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫(トロイオンス): 481955(前週比-2200)

世界プラチナETF残高(トン): 67.02(前週比-0.47)

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 328,000 円(2022 年 1 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2022 年 1 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>